1.地震活動に関する資料

3頁 2006年3月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

16 日 岐阜県美濃東部 深さ 43km M4.0

南関東における M 3.5 の地震は、

13日 茨城県南部深さ 56km M4.123日 茨城県南部深さ 69km M3.626日 茨城県北部深さ 56km M3.9

その他の地域で目立った地震はなかった。

伊豆半島東方沖でのまとまった活動は一旦3月2日に落ち着いたが、その後も小規模な活動が続き、3月30日には再びまとまった活動が始まった(3月中の最大は31日のM3.1)。3月30日からの活動は4月10日に落ち着いた。

また、静岡県西部の深さ $15 \sim 16$ km で 15 日 ~ 16 日および 21 日 ~ 28 日に最大 M1.2 のまとまった活動があった。

2004年9月5日の東海道沖の地震(M7.4)のM4以上の余震はなかった。

4頁 2006年4月の活動(1日~22日)

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震(伊豆半島東方沖は M 3.5) は、

4日 新島・神津島近海 深さ 11km M3.6 21 日 伊豆半島東方沖 深さ 7km M5.4 21 日 伊豆半島東方沖 深さ 8km M3.8 21 日 伊豆半島東方沖 深さ 8km M4.0 21 日 伊豆半島東方沖 深さ 6km M4.0 21 日 伊豆半島東方沖 深さ 9km M3.6 21 日 伊豆半島東方沖 深さ 9km M4.5 深さ 1km M4.8 22 日 伊豆半島東方沖 22 日 伊豆半島東方沖 深さ 9km M4.2

南関東における M 3.5 の地震は、

2日 茨城県南部深さ 59km M4.36日 鹿島灘深さ 83km M4.16日 千葉県北西部深さ 62km M4.214日 千葉県北東部深さ 35km M3.9

20日 茨城県南部 深さ 58km M4.3

その他の地域で目立った地震は、

11 日 房総半島南東沖 深さ 66km M5.0

伊豆半島東方沖で3月30日に始まったまとまった活動は、4月10日に一旦落ち着いた。その後、4月17日頃から再び地震活動が活発化し、4月21日02時50分にM5.4の地震が発生した(最大震度4)。

愛知県東部の深さ 38km で 4月 12 日に M2.7 の地震があった。

2004年9月5日の東海道沖の地震(M7.4)の M4以上の余震は、1回(4月12日 M4.4)。 M4以上の余震は、昨年2005年12月3日(M4.4)以来である。

5~8頁 伊豆半島東方沖の地震活動

3月30日から小規模な地震活動が始まり、4月10日に収まったが、4月17日頃から 再び活発化した。これらの地震活動に伴い、東伊豆の気象庁体積歪計に変化が現れた。 4月24日正午現在、最大の地震は4月21日に発生したM5.4である。

9頁 東海地域の地震活動指数

固着域:地殻内は短期・中期ともにほぼ平常(4~6)。フィリピン海プレート内も短期・中期ともにほぼ平常(4~5)。

愛知県: 地殻内は短期・中期ともに高い(8)。フィリピン海プレート内短期・中期は、 やや低い $(2 \sim 1)$ 。

浜名湖:西側では短期・中期ともに平常(4)。東側では短期・中期ともにやや低い~低い(2~0)。東側では短期で見ると 2000 年半ばから低めの指数 (1~4) の変動を繰り返し 2 になっている。全域では短期・中期ともにやや低い (2~1)。

駿河湾:短期・中期ともにほぼ平常 (4~5)。

10~11頁 固着域

 $(1997/01/01 \sim 2006/04/19 \text{ M} 1.1)$

[地殼内]

特段の変化なし。

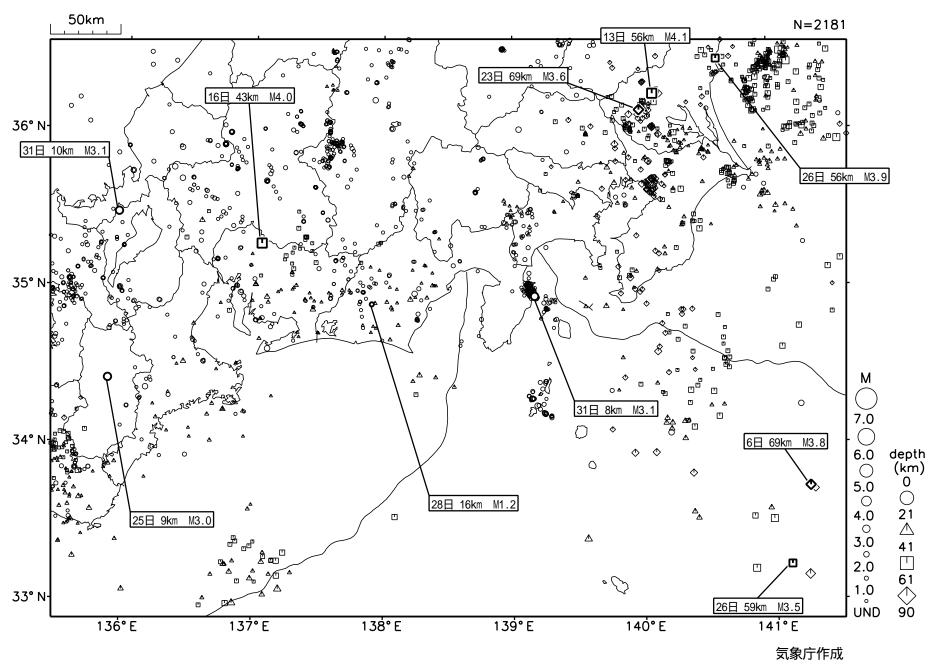
[フィリピン海プレート内] 特段の変化なし。

12 頁 浜名湖 (1995/01/01~2006/04/19 M 1.1:フィリピン海プレート内)

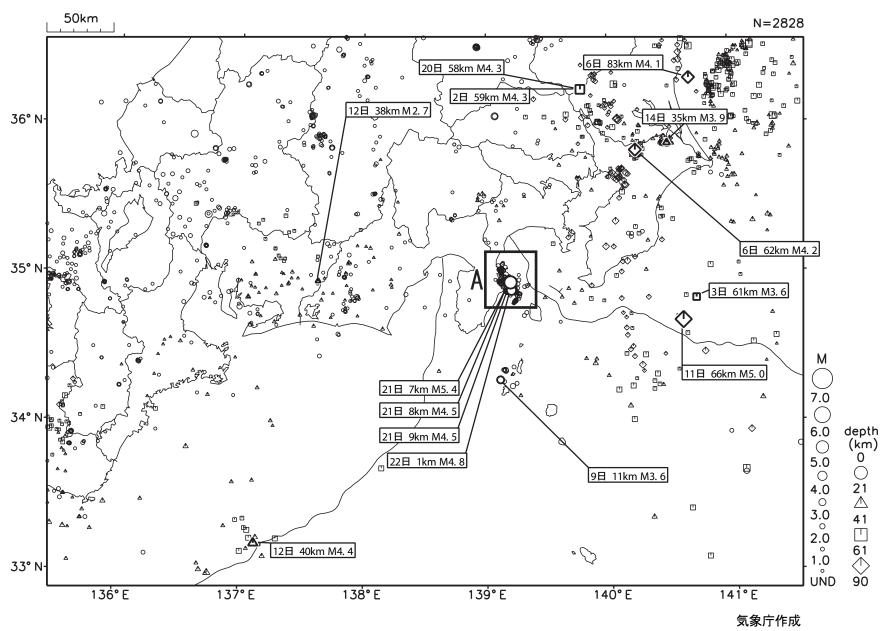
[東側] 2000 年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が継続している。最近では2003年6月5日 M3.9、2004年5月6日 M2.8 が目立つ。

[西側] 特段の変化なし。

東海・南関東地域の地震活動 2006年3月



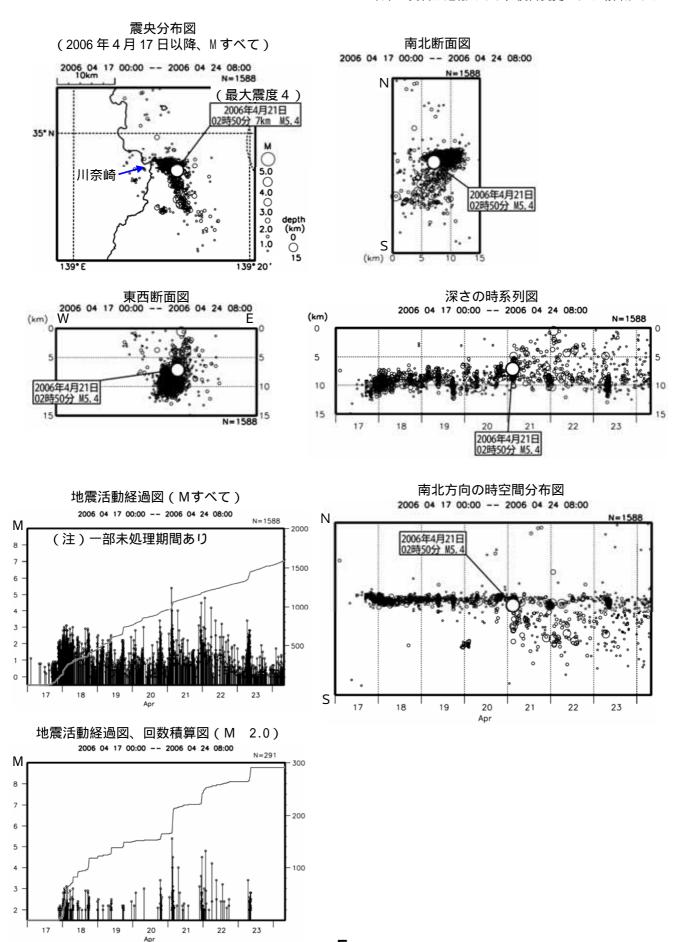
東海・南関東地域の地震活動 2006年4月(1日~22日)



注:伊豆半島東方沖の地震活動(上図領域A)はM4.5以上の地震に吹き出しを付けている。 この領域のM3.0以上の地震は21回であった。

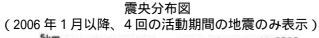
伊豆半島東方沖の地震活動

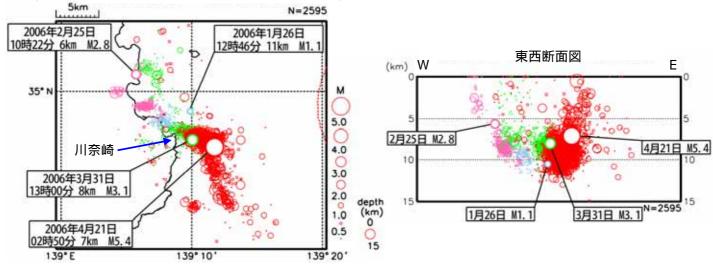
以下の資料は速報であり、後日変更される場合がある



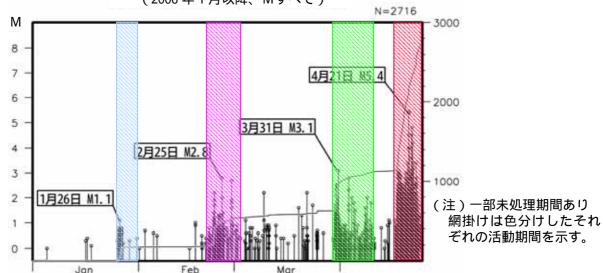
伊豆半島東方沖の地震活動 (最近の活動の比較)

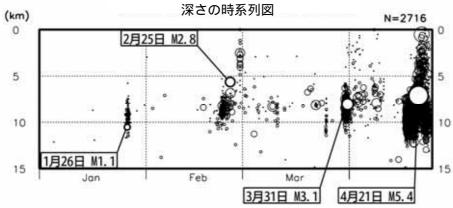
(注)地震は各活動期間のみを抜き出している。





地震活動経過図、回数積算図 (2006年1月以降、Mすべて)



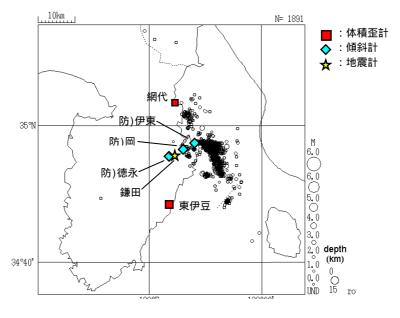


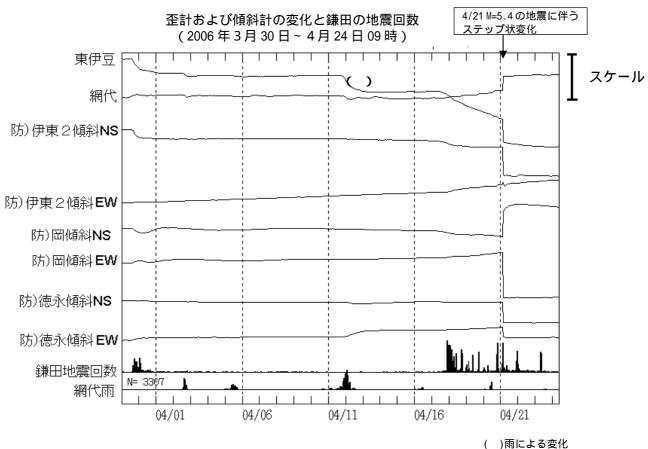
本年1月頃からまとまった地震活動が発生している。 今回は最も南東寄りである。

気象庁作成

伊豆半島東方沖の地震活動に伴う 歪計および傾斜計の変化

歪計および傾斜計の位置と震央分布図 (2006年3月30日~4月24日09時)





歪計および傾斜計の変化のグラフにおいて、縦軸のスケールは、 5×10^{-7} (歪) 5×10^{-6} (傾斜) 200回/時間(地震回数) 30mm/時間(雨量)を示す。

観測点名に「防)」のついている観測点は防災科学技術研究所の傾斜計を示す。鎌田地震回数は、 鎌田観測点の S-P 時間が 6 秒以下で上下動速度振幅が一定振幅以上の地震の数を表す。

伊豆半島東方沖の地震(2006年4月17日00時00分~

最大震度別有感地震回数表 *この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。

でこの資料は定我にこのが、後日の副直に変更されることがあります。														
期間		最大震度別回数								有感回数		地震回数		備考
期間	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	回数	累計	1VHI 75
04/17 00:00-24:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	328	328	
04/18 00:00-24:00	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	954	1282	
04/19 00:00-24:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	314	1596	
04/20 00:00-24:00	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	16	333	1929	
04/21 00:00-24:00	5	4	2	1	0	0	0	0	0	12	28	455	2384	
04/22 00:00-24:00	4	1	2	0	0	0	0	0	0	7	35	131	2515	
04/23 00:00-24:00	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	37	201	2716	

H18 04/23

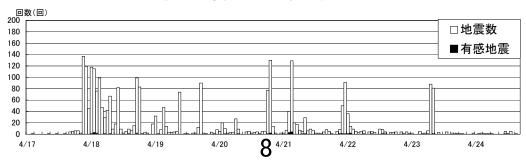
時間帯			最:	大震	度別回	数				有感	回数	地震	夏回数 二	備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	回数	累計	
00:00 — 01:00										0	35	2	2517	
01:00 - 02:00										0	35	0	2517	
02:00 - 03:00										0	35	0	2517	
03:00 - 04:00										0	35	5	2522	
04:00 - 05:00										0	35	1	2523	
05:00 - 06:00										0	35	2	2525	
06:00 — 07:00	1									1	36	6	2531	
07:00 - 08:00										0	36	88	2619	
08:00 - 09:00	1									1	37	81	2700	
09:00 — 10:00										0	37	0	2700	
10:00 - 11:00										0	37	3	2703	
11:00 — 12:00										0	37	0	2703	
12:00 — 13:00										0	37	0	2703	
13:00 — 14:00										0	37	4	2707	
14:00 — 15:00										0	37	0	2707	
15:00 — 16:00										0	37	2	2709	
16:00 — 17:00										0	37	2	2711	
17:00 — 18:00										0	37	1	2712	
18:00 — 19:00										0	37	1	2713	
19:00 — 20:00										0	37	1	2714	
20:00 - 21:00										0	37	0	2714	
21:00 — 22:00										0	37	0	2714	
22:00 — 23:00										0	37	0	2714	
23:00 — 24:00										0	37	2	2716	
日累計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	_	201	_	
総計	26	6	4	1	0	0	0	0	0	_	37	_	2716	

H18 04/24

時間帯		最大震度別回数									有感回数		地震回数	
时间带	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	回数	累計	備考
00:00 - 01:00										0	37	0	2716	
01:00 - 02:00										0	37	1	2717	
02:00 - 03:00										0	37	2	2719	
03:00 - 04:00										0	37	1	2720	
04:00 - 05:00										0	37	1	2721	
05:00 - 06:00										0	37	1	2722	
06:00 - 07:00										0	37	1	2723	
07:00 — 08:00										0	37	0	2723	
08:00 - 09:00										0	37	0	2723	
09:00 — 10:00										0	37	0	2723	
10:00 — 11:00										0	37	0	2723	
11:00 - 12:00	1									1	38	5	2728	
12:00 — 13:00										0	38	1	2729	
13:00 — 14:00										0	38	5	2734	·
14:00 — 15:00		·								0	38	0	2734	
15:00 — 16:00										0	38	1	2735	
16:00 — 17:00		,								0	38	0	2735	
日累計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	_	19	-	
総計	27	6	4	1	0	0	0	0	0	_	38	-	2735	

※精査の結果、4/20 19時台の震度1の回数を1から2に変更しました。 ※精査の結果、4/21 02時台、03時台の震度1の回数をそれぞれ0から2に変更しました。

伊豆半島東方沖の地震回数



東海地域の地震活動指数

(クラスタを除いた地震回数による)

2006年4月19日 現在

	① 固着			2)		4 駿河湾			
	地殼内	フィリ ピン海	地殼内	フィリ ピン海	フィリロ	全域			
		プレート		プレート	西側	西側 全域			
短期活動指数	4	4	8	2	4	2	2	4	
短期地震回数 (平均)	6 (6.18)	6 (5.83)	10 (4.40)	7 (12.65)	2 (2.38)	3 (6.08)	1 (3.70)	6 (6.11)	
中期活動指数	6	5	8	1	4	1	0	5	
中期地震回数(平均)	25 (18.53)	21 (17.50)	26 (13.21)	26 (37.95)	4 (4.76)	5 (12.15)	1 (7.39)	14 (12.22)	

* M しきい値:

M≥1.1: 固着域、愛知県、浜名湖、M≥1.4: 駿河湾

* クラスタ除去:

震央距離が△r以内、発生時間差が△t以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

 $\Delta r=3km$ 、 $\Delta t=7$ 日:固着域、愛知県、浜名湖

Δr=10km、Δt=10日: 駿河湾

* 対象期間:

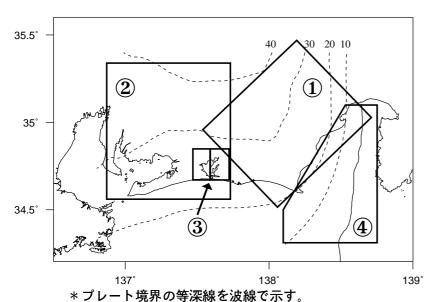
短期:30日間(固着域、愛知県)、90日間(浜名湖、駿河湾)

中期:90日間(固着域、愛知県)、180日間(浜名湖、駿河湾)

*基準期間:

1997年-2001年(5年間): 固着域、愛知県、1998年-2000年(3年間): 浜名湖

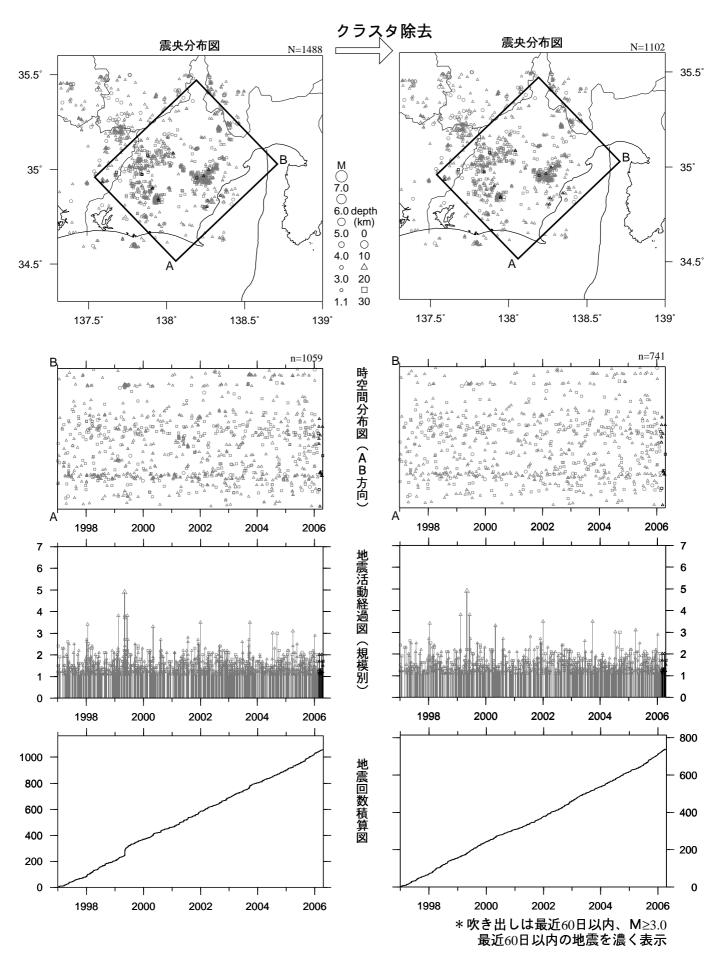
1991年-2000年(10年間):駿河湾



地震回数の指数化							
指数	確率 (%)	地震数					
8	1	多					
7	4						
6	10						
5	15						
4	40	平常					
3	15						
2	10						
1	4	\					
0	1	少					

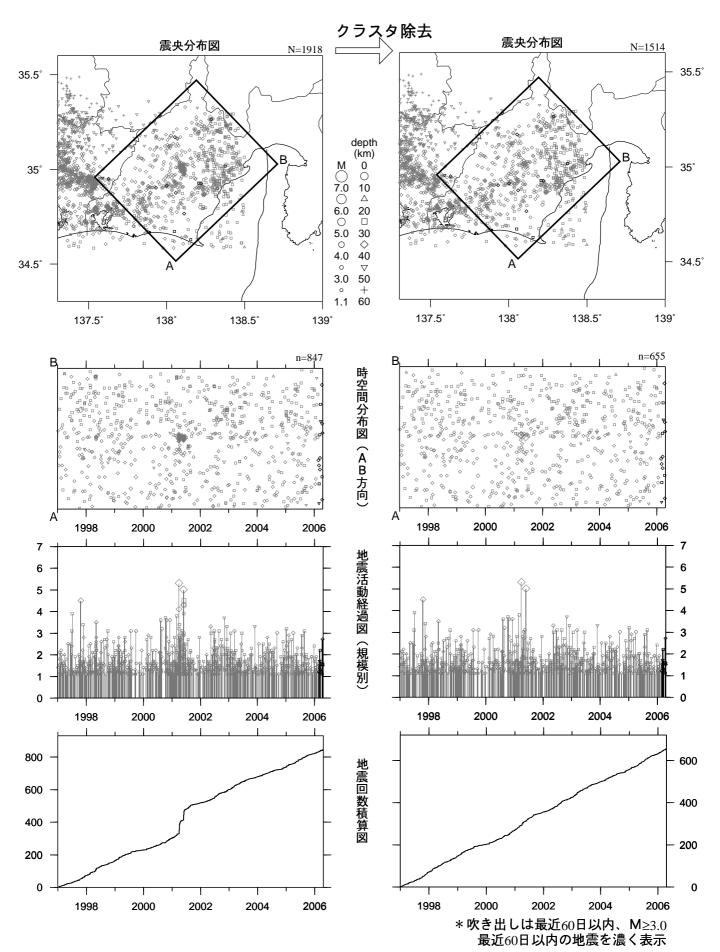
固着域(地殼内)

 $1997/1/1 \sim 2006/4/19 \quad M \ge 1.1$



固着域(フィリピン海プレート内)

 $1997/1/1 \sim 2006/4/19 \quad M \ge 1.1$



浜名湖 (フィリピン海プレート内) 1995/1/1~2006/4/19 M≥1.1 *

*クラスタ除去したデータ

